

学校だより

令和3年4月20日



第1号

TEL241-2605

甲府市立大里小学校 文責:長谷川和典

## 令和3年度大里小学校職員

校長：  
 教頭：  
 主幹教諭（教務主任）：  
 教務：  
 1年：

2年：  
 3年：  
 4年：  
 5年：  
 6年：  
 青桐：  
 ひまわり：  
 特支教育支援員：  
 養護教諭：  
 学習支援：  
 学習指導員：  
 スクールサポートスタッフ：  
 事務職員：  
 栄養教諭：  
 学校図書館司書：  
 技能員：  
 外国語専科(兼)：  
 ALT(兼)：  
 非常勤講師：



## 保護者、地域と共に育む“大里の子”

4/6の入学式で、96名の新入生を迎え、全校児童536名の“大里の子”と45名の教職員で大里教育が新たにスタートしました。

私たち大里小教職員は、子供たちの成長の場に寄り添い、子供たちの成長に関わることができると喜びを、保護者・地域の方々と共に分かち合いながら、「夢に向かって のびゆく 大里の子」の育成に向けて教育活動を進めて参ります。

題字の“共育”には、家庭・地域・学校が共に心を合わせ、力を合わせて子供たちの成長を支えていきたいという願いを込めました。

そのためには、まず地域の子供たちがどのような子供に育ててほしいのか、学校と家庭はもとより、地域が目標を共有することが大切であると感じています。

様々な機会に、地域の方々の声、願いも学校に寄せていただければと思います。それが、子供たちの成長を支える「地域とともにある学校づくり」の第一歩になります。

しかし、皆様もご承知の通り、コロナ禍にあって、学校の教育活動もまだまだ制約されることが多く、例年通りのことができない厳しい状況にあります。先の見通しがはっきりしない中ではありますが、子供たちの安全を第一に学校の教育活動をすすめて参りたいと考えております。

保護者、地域の皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



入学式前日、校庭の桜もだいふく葉桜が目立つようになっていました



子供たちの健やかな成長を支援できるよう全職員で力を合わせて取り組んでいきます。

よろしくお願いいたします。

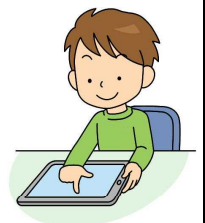


### 学校教育目標

「夢に向かって のびゆく 大里の子」

### めざす子供像

- ◆ 進んで学習する子供
- ◆ 思いやりのある子供
- ◆ 健康でたくましい子供



## 入学式 4/6

花冷えの朝、かわいらしい96名の新入生が元気に登校し、入学式を行いました。

式の中では、新入生として頑張ってもらいたいことを三つお話ししました。一つ目は「元気よくあいさつや返事をしましょう」二つ目は「自分のことは自分でしましょう」三つ目は「誰とでも仲よくしましょう」ということです。6年間という長い小学校での生活で、心も体も伸びやかにたくましく成長してくれることを期待しています。

今年も感染予防から来賓の出席もなく、短い式とはなりましたが、それでもじっと座っていることは、小学校初日の新入生にとってとても大変だったと思います。しかし、前に立つ人の話を聞いて返事をしたり、礼をしたり、1年生の態度として100点満点の頑張りだったと思います。

これからの学校生活がとても楽しみです。



## 朝のあいさつ

「おはようございま〜す」

朝玄関で子供たちを迎えていると、大きな声であいさつを返してくれる子がたくさんいます。その一方、「あれ、あいさつしてないのかな」と思える子もまだ多いです。しかし、そうした子供たちも、決してあいさつをしていないわけではありません。気をつけて聞いていると、小さな声で「おはようございます」としっかり返してくれています。せっかくなら相手にしっかり聞こえるような声でと思うと同時に、マスクをしていなければ表情でも伝わるのになど、コロナ禍にあることを残念に思います。

その日一番最初のコミュニケーションとして、「朝のあいさつ」をこれからも大切に続けていきます。

## 男女混合名簿に替わります！

男女平等の考えの基、男女が互いにその人権を尊重しつつ、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現に向け、様々な取組が日本の社会全体で進められています。その取組の一環として、本校でも、今年度から使用する名簿を男女別名簿から男女混合名簿に切り替えました。

(県内でも、多くの小学校で、すでに導入済みです。)

学校生活の中で名簿によって毎日毎日繰り返される影響は大変大きく、男女別名簿は、いつも「男が先、女があと」という序列を作り、男子優先、女と男は生まれながらに違う存在で区別されるもの、という強力なメッセージが刷り込まれていくと言われていています。心に深く根付いた差別や習慣を変えるには形式から替えていくことも一つの効果的な方法です。これからの社会は、子供たちを「男らしく、女らしく」ではなく、「自分らしく」「個」を大切に育て、男女平等の社会をつくる必要があります。そのための一の取組として、混合名簿があります。

この他にも、背の順に並ぶ際も男女混合で並んだり、「〇〇君・〇〇ちゃん」ではなく「〇〇さん」と呼んだりするということもあります。最初は戸惑いもあるかもしれませんが、いつしかこうしたことが当たり前になるように少しずつ取組を積み重ね、男女共同参画社会の実現に向け、「自分らしく」生きていける子供たちを育てたいと考えています。



始業式の朝、掲示された名簿も

## 初めての給食 4/14

小学校で食べる初めての給食。静かに食べている1年生に少しだけ感想を聞いてみました。「おいしい」「唐揚げもっと食べたい」「楽しみにしてた」

明日はどんなメニューだろう。楽しみです。

